

令和 8 年熊本地震に係る
第 15 回政府非常災害現地対策本部会議
第 22 回災害対策本部会議 議事録

日時：令和 8 年 8 月 13 日（木） 16：00～

会場：県庁防災センター 2 階 災害対策本部会議室

1 開会

2 議事

（1）今後の気象の見通し

別紙「気象台資料」により説明（熊本地方気象台）

（2）県からの報告

別紙「各部説明資料」により説明（各部長等）

（3）国からの報告

①経済産業省

都市ガスの供給停止が八代市で続いているが、昨日時点で 8100 戸まで供給再開ができたところ。残りについても、今週中に概ね復旧できる見通し。

八代市についても局地激甚災害見込みを発表。引き続き被害状況の把握に努めるとともに、具体的な支援策について県・市と連携しながら進める。

②国土交通省

13 日 7 時 30 分時点で断水戸数は 28,400 戸。11 日 11 時時点から 4,600 戸減。下水道は 13 日 13 時時点で応急復旧中の地区もあるが全地域で使用可能。

八代港の港湾機能の早期復旧に向け、8 月 12 日に有志や関係団体で構成する八代港被災施設復旧技術検討委員会を設置。月内に次の検討委員会を開催。

九州自動車道の松橋 IC～えびの IC 間について通行止めを実施しているが、明日 14 日朝に一部対面通行規制を実施したうえで、全線通行止めを解除する。これにより九州自動車道全線で一般車両も通行可能となる。

国道 3 号の改善について、12 カ所の舗装補修の夜間工事を実施中。13 日時点で 12 カ所のうち 9 カ所が完了。

井戸水対応チームを設置し、井戸水洗浄等のための業者派遣を含めて調整を開始。本日より県・市と連携してチームが現地に入り、地域のニーズの把握に向けて地元住民の代表の方々との調整を開始した。

③自衛隊

八代市、宇城市の病院に対する給水支援を実施中。入浴支援について7か所で支援を継続。昨日は892名の方々に利用いただいた。

「はくおう2」について、明日から宿泊支援を開始。予約開始から短時間で全107室が予約され255名の方に利用いただく。干満差による乗降への影響について、昨日、緩衝物の設置作業を完了し影響を大幅に緩和した。どうしても1日に2時間程度ランプを降ろせない時間が生じるが、その時間を避けて予約を受け付け、影響が出ないように配慮している。

(4) 関係機関からの報告

①緊急消防援助隊

引き続き救急隊による被災地の救急活動支援、避難所の巡回、熱中症予防の啓発活動を実施中。

②日本赤十字社

全19隊で、災害関連死予防のための避難所環境の改善に取り組んでいる。避難者や要配慮者のリストアップを行っている。

3 災害対策本部長（木村知事）からのコメント

別紙「本部長（知事）コメント」のとおり

4 政府非常災害対策本部副本部長（赤間防災担当大臣）からのコメント

先だって総理と被災地に伺い、本日改めて入らせていただいた。皆様方のご尽力、ご協力のおかげで、避難所の環境が大きく改善していると思う。

本日は八代市、宇城市の避難所にお邪魔させてもらった。「いつまでここにいれば」、「家はまだ散らかったまま」、「この先が見えない」などの声もあった。

人数も多く、地域においても様々な被害の程度の差があり、皆様には苦勞をかけるが、一人一人のそういった声に応える、これ乗り越えてこそ、この国の先というものが見えてくるのだと思う。皆様方には引き続きのご尽力をお願いする。

また、拠点避難所の整備促進等の話もあった。現地対策本部としてもきちんと連携しながら対応して参る。

応急仮設住宅についてもかなり早い段階で急ピッチで進んでおり、大変スピーディな対応に感謝申し上げる。中には、この数で自分は入居できるのだろうかなどの声もあった。

それぞれが努力、連携しながらここを乗り越えて参りたい。